

平成25年(2013年)4月の結果 (二人以上の世帯)

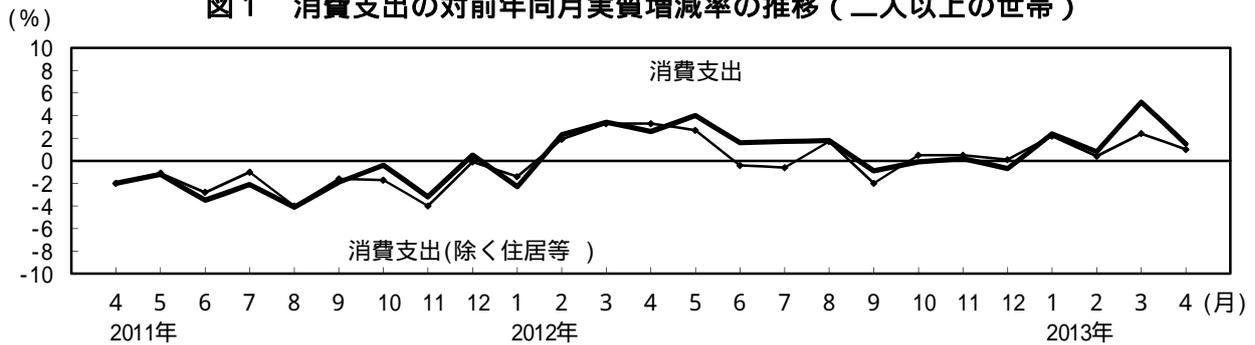
二人以上の世帯

消費支出は、1世帯当たり	304,382円		
前年同月比	実質1.5%の増加 名目0.8%の増加	前月比(季節調整値)	実質4.6%の減少
消費支出(除く住居等)は、			
前年同月比	実質1.0%の増加 名目0.3%の増加	前月比(季節調整値)	実質2.4%の減少
うち勤労者世帯の実収入は、	うち勤労者世帯の消費支出は、		
前年同月比	実質2.9%の増加 名目2.2%の増加	前年同月比	実質1.1%の増加 名目0.4%の増加

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

1 消費支出の推移

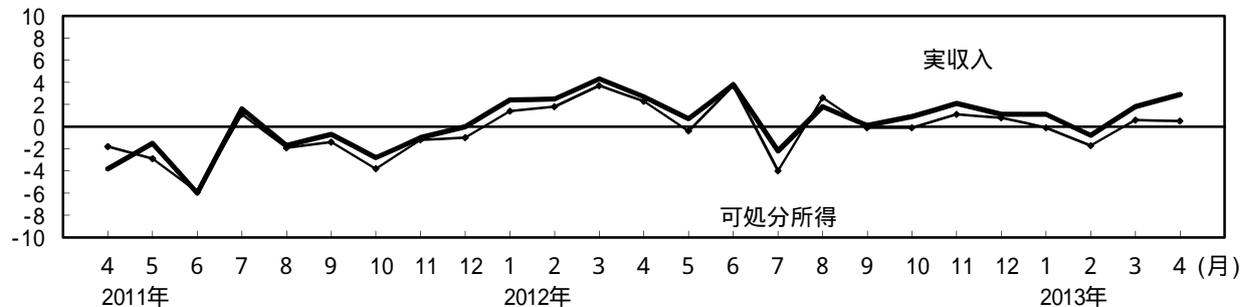
図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)



	2012年										2013年			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
消費支出	2.6	4.0	1.6	1.7	1.8	-0.9	-0.1	0.2	-0.7	2.4	0.8	5.2	1.5	
消費支出(除く住居等)	3.3	2.7	-0.4	-0.6	1.7	-2.0	0.5	0.5	0.1	2.2	0.4	2.4	1.0	

2 勤労者世帯の収入の推移

図2 実収入及び可処分所得の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	2012年										2013年			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
実収入	2.7	0.7	3.8	-2.2	1.8	0.1	0.9	2.1	1.1	1.1	-0.8	1.8	2.9	
可処分所得	2.3	-0.4	3.7	-4.0	2.6	-0.1	-0.1	1.1	0.8	-0.1	-1.7	0.6	0.5	
消費支出	3.8	0.9	2.5	1.5	0.9	0.6	0.7	1.8	2.2	4.1	2.7	7.6	1.1	
平均消費性向*	1.3	1.3	-0.6	3.9	-1.4	0.7	0.6	0.6	0.7	3.6	3.3	6.3	0.5	

*：対前年同月ポイント差

3 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（2013年4月—二人以上の世帯）

項目	金額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減率への寄与度 (%)	摘要	備考
		名目	実質			
消費支出	304,382	0.8	1.5	1.5		4か月連続の実質増加
食料	66,382	0.9	2.7	0.60	<増加> 野菜・海藻, 肉類など	2か月連続の実質増加
住居	18,048	18.8	19.2	0.97	<増加> 設備修繕・維持	2か月連続の実質増加
光熱・水道	24,054	-5.1	-7.3	-0.62	<減少> 電気代, ガス代など	3か月連続の実質減少
家具・家事用品	8,825	7.0	10.2	0.28	<増加> 家庭用耐久財, 家事用消耗品など	3か月ぶりの実質増加
被服及び履物	11,762	0.6	0.6	0.02	<増加> 洋服, 履物類など	3か月連続の実質増加
保健医療	12,440	2.7	3.4	0.14	<増加> 保健医療サービス	2か月連続の実質増加
交通・通信	42,061	-2.1	-2.0	-0.29	<減少> 自動車等関係費, 交通	15か月ぶりの実質減少
教育	20,902	-12.0	-12.5	-0.99	<減少> 授業料等, 補習教育など	2か月連続の実質減少
教養娯楽	30,494	3.2	5.6	0.55	<増加> 教養娯楽サービス, 教養娯楽用耐久財など	4か月連続の実質増加
その他の消費支出	69,414	3.1	(3.8)	(0.86)	<増加> 諸雑費, こづかいなど	2か月連続の増加

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中分類

品目

<増加項目>

実質寄与度

設備修繕・維持	[1.28]	外壁・塀等工事費, 設備器具
諸雑費	[0.71]	葬儀関係費, 祭具・墓石
教養娯楽サービス	[0.42]	外国パック旅行費, 国内パック旅行費
通信	[0.40]	移動電話通信料, 固定電話通信料
家庭用耐久財	[0.19]	エアコンディショナ, 電気掃除機
野菜・海藻	[0.18]	トマト, だいこん

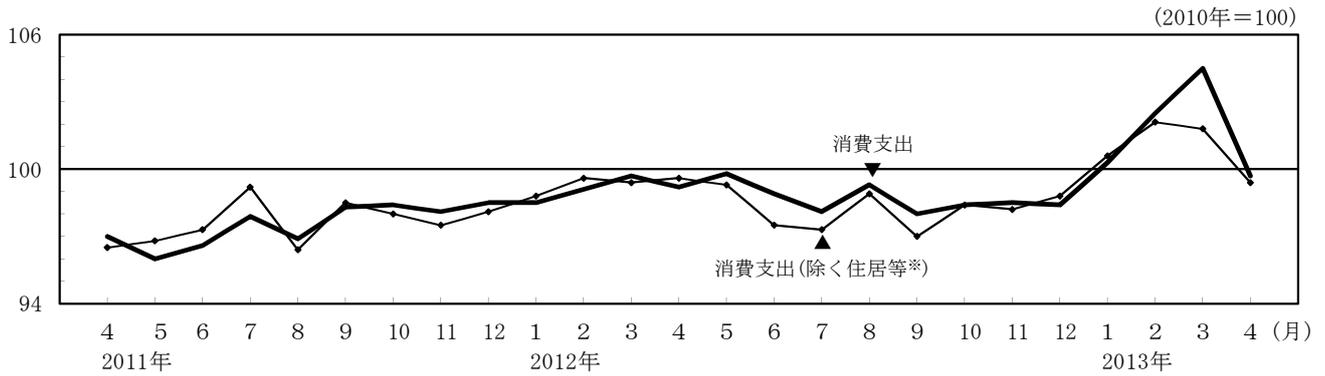
<減少項目>

授業料等	[-0.93]	私立大学, 専修学校
自動車等関係費	[-0.61]	自動車購入, 自動車等部品
電気代	[-0.41]	
家賃地代	[-0.31]	公営家賃, 民営家賃
交際費	[-0.23]	贈与金

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移（二人以上の世帯）



	2012年										2013年			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
消費支出	99.2	99.8	98.9	98.1	99.3	98.0	98.4	98.5	98.4	100.3	102.5	104.5	99.7	
対前月変化率(%)	-0.5	0.6	-0.9	-0.8	1.2	-1.3	0.4	0.1	-0.1	1.9	2.2	2.0	-4.6	
消費支出(除く住居等*)	99.6	99.3	97.5	97.3	98.9	97.0	98.4	98.2	98.8	100.6	102.1	101.8	99.4	
対前月変化率(%)	0.2	-0.3	-1.8	-0.2	1.6	-1.9	1.4	-0.2	0.6	1.8	1.5	-0.3	-2.4	

注1 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。

2 季節調整値は、毎年1月結果公表時に、過去に遡って改定している。

4 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（2013年4月—二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項目	金額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減率への寄与度(%)	備考
		名目	実質		
実収入	479,854	2.2	2.9	2.9	2か月連続の実質増加
世帯主収入	359,914	0.9	1.6	1.23	2か月連続の実質増加
定期収入	349,193	-0.6	0.1	0.06	2か月連続の実質増加
配偶者の収入	57,038	15.2	16.0	1.69	17か月連続の実質増加
うち女性	56,543	15.9	16.7	1.74	18か月連続の実質増加
他の世帯員収入	10,497	18.2	19.0	0.36	7か月連続の実質増加
非消費支出	94,270	13.6	—	—	8か月連続の増加
可処分所得	385,584	-0.2	0.5	—	2か月連続の実質増加
消費支出	340,423	0.4	1.1	—	15か月連続の実質増加
平均消費性向(%)	88.3	(前年同月) (ポイント差)			季節調整値で見ると、73.2%で、前月に比べ、4.1ポイントの低下となった。
		87.8	0.5		